

4種混合（百日せき・破傷風・ジフテリア・ポリオ） 定期予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良いときに受けましょう。

1 対象年齢 生後2か月～7歳半の日の前日まで

2 標準的な接種期間 1 期初回・・・生後2か月～1 歳未満
1 期追加・・・1 期初回の3 回目終了後1 年～1 年半間隔において

3 接種回数・間隔

1 期	初回：3回	20日以上あけて（標準的接種間隔：20日～56日）
	追加：1回	初回の3回目の接種終了後、6ヶ月以上あけて （標準的な接種間隔：1年～1年半）

4 接種場所 別紙「予防接種協力医療機関」4種混合の欄に○のある医療機関
※医療機関に予約をしてから接種してください。

5 持ち物 予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳

6 費用 無料（公費負担） ※対象年齢を過ぎると実費になります。



裏面をご覧ください

7 予防する病気

百日せき	百日せき菌の飛沫感染で起こります。突然激しく咳き込み、その後「ヒュー」という笛を吹くような音が聞こえる咳が特徴です。咳き込んで吐くこともあります。乳児では、せきで呼吸ができず、チアノーゼやけいれんが起こり、ひどい場合は亡くなることもあります。 また、肺炎や脳症などの重い合併症を起こすことがあります。最近、長引くせきを特徴とする思春期・成人の百日せきがみられ、乳幼児への感染源となる危険性があります。
ジフテリア	ジフテリア菌の飛沫感染でおこります。感染は主にのどですが、鼻にも感染します。 症状は、高熱、頭痛、のどの痛み、犬の吠えるようなせき、嘔吐等です。重症になると心筋炎や神経まひを起こすこともあります。
破傷風	破傷風菌は土の中にあり、傷口から菌が体の中に入り感染します。 口や顔のけいれんから始まり、数日以内に全身の強直性けいれんを起こします。日光や騒音の刺激で全身性強直を起こし、次第に激しくなり死に至ることもあります。
ポリオ	かつて「小児まひ」と呼ばれ、国内でも大きな流行がありました。 感染したヒトの便中に排泄されたウイルスが口または鼻から体に入り感染します。 感染してもほとんどは症状が出ずに終わり、一生抵抗力（終生免疫）を得られますが、約5～10%の方がかぜのような症状や胃腸炎を起こします。感染した人のうち約1000～2000人に1人の割合で、手足に麻痺を起こします。

8 ワクチンの副反応

- 接種後の副反応は局所の反応が最も多くみられ、注射部位の発赤、しこり、腫れが見られます。発赤や腫れは数日で自然に治まりますが、しこりは縮小しながら数か月続くことがあります。
- 全身の反応では、37.5℃以上の発熱が見られることがあります。
- 重い副反応では、ショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳症、けいれん等がみられることがあります。極めてまれです。

9 接種上の注意

- ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオに罹ったことがある方も4種混合を接種できます。
- 令和6年4月1日以降、4種混合とヒブワクチンがひとつになった「5種混合ワクチン」が定期接種となりました。まだ4種混合とヒブの接種を開始されていない方で、5種混合を希望する場合は、下記連絡先までご連絡ください。予診票を交換いたします。
- 4種混合から5種混合に切り替えて接種することはできません。令和6年3月以前に4種混合とヒブワクチンで初回接種を開始した方は、原則として、同じ種類のワクチンで残りの回数を接種してください。

R7.4.1

<お問い合わせ先> 伊那市役所健康推進課予防係 電話0265-78-4111 内線2332